

# マスクエディタを使う

ご存知でしたか?... マスクエディタを使って、対象のラスタオブジェクトに対して  
 ヌルマスクや個別のマスクラスタを編集・保存できます。

## マスクエディタを使うことで...

- 指定した領域を表示や他の処理から除外するためのマスクを作成できます。
- 各種の描画ツールを使ってマスクする領域を選択 (マーク) できます。
- 含める領域、除外する領域、選択した領域に対してハイライトカラーや透明度を設定できます。
- マスクをヌルマスクサブオブジェクトや、別のバイナリラスタオブジェクトとして保存できます。
- 表示処理や入力ラスタオブジェクトを表示するその他の処理で、マスクを直接作成・編集できます。



クリックすることにより、選択した領域をマスクに含めたり除外したり、あるいは選択領域を反転することができます。

クリックして対象となるラスタを選択します。

マスク領域を描くためのツールを選択します。

クリックして、マスクにアクションを適用します。

選択したハイライトカラーが80%の透明度で表示ウィンドウに表示されます。

現在のマスクを対象ラスタのヌルマスクサブオブジェクトとして保存するか、別のバイナリラスタオブジェクトとして保存するか、保存方法を選択します。

Mask Editor (3716) window details:

- Raster: blackbrn.rvc / AERIAL
- Mask: AERIAL
- Edit Tools: Includes tools for selection, exclusion, and marking.
- Manual Entry: Input field for mask name.
- Highlight Color: Includes, Excluded, and Marked options with transparency settings (e.g., 80%).
- Save As...: Binary Raster, Null Mask options.

Display Group 1 - View 1 (3716) window details:

- Legend items: Marked, MASK, 200 dpi scan of air.
- Map annotations:
  - 選択した領域 (アクション待ち)
  - 処理に含める領域
  - 処理から除外領域

## マスクエディタを使う方法

- メニューバーから [画像 (Image)] > [ユーティリティ (Utilities)] > [マスクの編集 (Edit Mask)] を選択するか、<表示マネージャ (Display Manager)> もしくは [凡例表示 (LegendView)] 中でラスタの右マウスメニューから [マスクの編集] を選択します。
- [ラスタ (Raster)] ボタンをクリックして、対象のラスタを選択します。
- [編集ツール (Edit Tools)] パネル中の希望の描画ツールをクリックします。
- マスクする領域を描いて、右クリックして領域をマーク (選択) します (アクション待ちの状態)。
- [ラスタから除外 (Exclude from Raste)] ボタンをクリックして、選択した領域をマスクします。
- 必要に応じて上の2つのステップを繰り返します。
- [ヌルマスク (Null Mask)] または [バイナリマスク (Binary Raster)] トグルボタンをクリックして、現在のマスクを対象ラスタのヌルマスクサブオブジェクトとして保存するか、別のバイナリラスタとして保存します。
- [保存 (Save)] ボタンをクリックします。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください：空間表示：  
**マスクやヌルマスクの作成・編集**  
 (Create and Edit Masks and Null Masks)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS  
 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14  
 紀伊国屋ビル 1F  
 Tel: (03)3623-2851  
 Fax: (03)3623-3025  
 E-mail: info@opengis.co.jp

